



Good News for Japan

苦しむ人々のために

張田 和子



山室 機恵子

皆さんの中には、「山室軍平」と聞いて「ああ、救世軍のね」と思われる方があるかもしれません。日本人で最初の「救世軍士官」(伝道者)になった人です。

その妻である機恵子を記念した「山室機恵子記念チャペル」が、東京・杉並区の救世軍ブース記念病院にあります。ブース記念病院は、今年十一月に開設百周年を迎えますが、このチャペルは、機恵子が病院開設のため、命を削って尽力したことを記念しています。

機恵子は、岩手県花巻の藩士の娘でした。幼い時から感受性豊かな、よく考える子であったようです。教育熱心な親の勧めで十八歳の時に上京し、明治女学校に学びます。明治女学校は、当時、植村正久、内村鑑三、津田梅子などのクリスチャンを教授陣に据えており、機恵子は、キリスト教の感化を受けつつ青年時代を過ごしました。

明治二十八(一九九五)年、機恵子が明治女学校高等科を卒業した年に、救世軍がイギリスからやって来ます。

皆さんの中には、「山室軍平」と聞いて「ああ、救世軍のね」と思われる方があるかもしれません。日本人で最初の「救世軍士官」(伝道者)になった人です。その妻である機恵子を記念した「山室機恵子記念チャペル」が、東京・杉並区の救世軍ブース記念病院にあります。ブース記念病院は、今年十一月に開設百周年を迎えますが、このチャペルは、機恵子が病院開設のため、命を削って尽力したことを記念しています。

機恵子は、岩手県花巻の藩士の娘でした。幼い時から感受性豊かな、よく考える子であったようです。教育熱心な親の勧めで十八歳の時に上京し、明治女学校に学びます。明治女学校は、当時、植村正久、内村鑑三、津田梅子などのクリスチャンを教授陣に据えており、機恵子は、キリスト教の感化を受けつつ青年時代を過ごしました。

明治二十八(一九九五)年、機恵子が明治女学校高等科を卒業した年に、救世軍がイギリスからやって来ます。機恵子が明治女学校高等科を卒業した年に、救世軍がイギリスからやって来ます。

明治二十八(一九九五)年、機恵子が明治女学校高等科を卒業した年に、救世軍がイギリスからやって来ます。

者は死亡者の十倍と言われているので、百三十万人以上の患者がいることになり、五十人に一人の結核患者がいる「(ときのこえ)結核特集号 大正五年2月11日発行」と記録があります。

救世軍は、貧しさのために十分な医療を受けられない人々のための結核療養所の設立を目指します。機恵子はこの難事業に奔走することを決意。建設費を得るために千名にのぼる募金名簿を作成し、身重の体で一軒一軒訪問し、支援の依頼をしました。それは、周囲にいる人々の想像を超える働きでした。

多くの子を育て、自身の健康も十分でなくなっていた機恵子でしたが、今までそうしてきたように、ただ、苦しむ人々のためにひたすら力を尽くしたのでした。

そして、臨月を迎える直前の大正五(一九一六)年六月、入院が必要な状態に陥り、七月四日に男児を出産。その後容態は悪化します。七月十二日、絶筆「神第一」、「幸福は唯十字架のわたらにありませう」を遺した。

謹んで被災された方々にお見舞いを申し上げます。一日も早い心の平安の回復と、被災地の復興をお祈り申し上げます。



救世軍ブース記念病院



1916年、杉並に開所した救世軍結核療養所



山室機恵子記念チャペル

※一定基準のもとに国が女性の売春を公認していた(公娼制度)ため、女性の人權擁護の立場からこれを廃止させようとした社会運動。

〈インタビュー〉



祈りの力によって

司令官 大佐 佐々木 大佐
女性部会長 シェリル・メイナ

ると、迎えに来るだけでした。父はそれからずっと後にイエス様を信じて、天に召されました。祖母の祈りはきかれたのです。

シェリル 私の両親は救世軍に通っていましたが、あまり熱心ではありませんでした。

私は、信仰深い祖母の姿に大きな影響を受けました。家には祈りの椅子があつて、祖母はそこで聖書を読み、祈り、祈りの日記を書いていました。

また、救世軍の小隊（教会にあたる）で活発に活動し、病院を訪問して、患者さんにイエス様による慰めを届けるボランティアもしていました。

神様と生き生きとした関係をもっているのが幼い私にもよくわかりました。

—イエス様を救い主として信じたのはいつでしたか？

ケネス 六歳でした。日曜学校に通い始めて数週間後です。日曜学校の先生が説明してくれました、イエス様が救い主であることを素直に信じることで

できました。勧められるまま「イエス様、私の心においでください」と祈った時、イエス様が確かに自分の心におられる、と感じました。そして、本心に心が変えられました。

私の家は貧しく、与えられるものへの不満と、持っているものへの不安がありました。

イエス様を信じてからは、与えられているもので満足し、感謝するようになったのです。また、自己中心的な男の子でしたが、人の助けとなることを考え、両親への見方も、してくれることへの不満ではなく、両親のためにできることは何か、と考えるようになりました。

シェリル 私は救世軍の小隊で、サンビームという、女兒のための集まりに参加していました。六歳の時、ある大きなサンビームの集会でイエス様を心から信じました。そこで話されたことをすべて理解

したわけではありませんが、私にはイエス様が必要なのだとわかったので、恵の座（救世軍で神様に祈りを献げる特別な場所）に進み出て、「イエス様を信じます」とお祈りしました。その集会で、イエス様が私を愛してくださっている、ということがよくわかりました。

—ケネス大佐が救世軍に来たのはいつのことですか？

ケネス 高校生の時です。人生で一番素晴らしい出来事でした。仲のいい友人が救世軍に通っていて、私を誘ってくれました。初めて救世軍の礼拝に参加した時、そこにいた

のは、小隊長牧師にあたる）夫妻と、友人、私、そして、

年配の女性の五人でした。彼女は、「祈りの戦士」と言える、祈り深い人でした。そこはとても小さい建物でしたが、私はその時（ここは私の居場所だ）と感じました。まるで家族の一員のように迎えられ、それ以上に、ここに本当に神様がおられる」と感じたのでした。それから、救世軍に通うようになり、小隊長たちも私を大切に育ててくれました。

—お二人の出会いについてお聞かせください。

シェリル 看護師になったかった私は、高校卒業後看護学校へ進学するつもりでした。ところが、父がそのための書類にサインしてくれなかったのです。私は道が閉ざされて動揺しました。神様は私にどのように生きることを望んで

おられるのだろうか、と祈りました。その頃、私のいとこが救世軍の士官（伝道者）として、小隊の責任をもっていたので、その小隊での青年の働きの助手として働き始めました。神

様のために働くことを真剣に祈るようにもなっていたからです。それがケネスの通っていた小隊で

いた小隊で



ケネス 彼女は、青年

六月一日付けで、日本の救世軍の指導者として、アメリカから、ケネス・メイナー大佐、シェリル・メイナー大佐夫妻が着任しました。母国以外の国での宣教は初めてという二人に話を聞きました。

—日本へ派遣されることが決まった時のことを聞かせてください。

ケネス 神様は不思議なことをなさる、と思いました。私は海外での宣教を考えたこと

もありませんでしたから。日本人がどのように私たちを受け入れてくれるだろうか、たくさんのことを学ばなければ、などいろいろな思いが溢れました。

シェリル 大変びっくりしました。まず、私の名前をちゃんと呼んでもらえるかしら？と思いました。実は、青年時代、看護師として海外で働きたいと思っていました。

看護師への道は閉ざされたのですが、神様が、このような形で日本に送ってくれたこと

とわくわくしています。

—お二人は、クリスチャンの家庭で育ったのですか？

ケネス 両親はクリスチャンではありませんでした。私の父方の祖母が、父に、私を教会に連れて行くよう熱心に勧めたため、ルーテル教会の日曜学校に行くようになりました。

祖母は、父に信仰を、と願ひ、私がつきかけになって父が教会につながることを期待していたようです。けれども、父は私を教会に送り届

け



結婚の記念写真

も増えていました。彼女にはすぐに魅かれましたが、私は内気な青年だったので、声をかけるのにとでも勇気が要りました。と同時に、神様が出会わせてくださった方だ、という思いが与えられていました。

シエリル 私は、彼のユーモア溢れる性格に魅かれました。私にも、この人は主が出会わせてくださった人だ、という思いが与えられていました。

ちょうど日曜の夜、年長の青年のための聖書の学びと交流をする集いが始まり、そのような時を共にする仲間として、彼と親交を深めていきました。ある時、大学生くらいの年齢の青年が大勢集う集いにそれぞれ違うグループで参加しました。「主によって歩く人生の土台」がその会のテーマでした。その会が終わる頃、私たちはそれぞれが神様のために生涯を献げて働きたい、と決心をしていました。二人で話すうちに、お互いがその働きのパートナーとして神様の



備えてくださった存在だ、と確認し合ったのです。

―そして結婚に？

ケネス はい。十九歳の時です。家族からは「若すぎる」と言われました。結婚のため、大学を辞めて、航空機の部品を作る会社に就職し、それから一年後、救世軍士官 (伝道者) となるための学校に入學しました。(大学の学びは士官になってから終了することができました。)

れを受け入れられる祈りを献げたのです。

シエリル 彼が救世軍士官となることは神様のご計画だったのだ、と思えるエピソードがあるんですよ。

ケネス ええ。救世軍の存在も全く知らな

った九歳頃のことです。教会の日曜学校でよく「私は主の軍隊の一員だ!」という明るい調子の歌を歌っていました。その時、不思議なのですが、神様が、「あなたは大きくなったら神様の軍隊の一員になるよ」と語りかけている、という思いがしていました。救世軍、という、軍隊が名前になっている教会について全く知らない時に、です。その時から、神様は私を救世軍士官として招いてくださったのではないのでしょうか。

―それぞれの幼い頃、若い頃に与えられた思いが、今にながっているのです。ところで、初めて来日した印象を聞かせてください。

ケネス 士官として過ごす中で感じているのは、神様の導きは、私たちの思いを超えてはるかにすばらしい、ということです。日本人、そして、日本の救世軍は、豊かな資源、資産をもっていますし、発明する力、独自のシステムをもっていますね。日本人の忠実さは、ゴミの集積所での分別の様子に感じています。(笑)

日本人の想像力の豊かさが聖霊の力を受けるならば、全世界に影響を及ぼすことでしょう。日本の救世軍もそのようになると信じています。

シエリル 私は聖書の御言葉

に信頼しています。ヨエル書に、「わたしはすべての人にわが霊を注ぐ」とありますが、日本のキリスト教の歴史を学ばせていただき、神様ご自身願いと、これまで献げられてきた多くの祈りによって、必ず、すべての日本人に聖霊が注がれると信じています。

また、私もその祈りに加わっていきたいです。

ケネス 私は、いつでも、どんな人にもこう問いかけるようにしています。

「今、気にかけていること、必要なことは何ですか?」「私にできることはありますか?」「あなたのために何を祈ればいいですか?」

と。企業のトップにも、ご近所の人にも。クリスチャンであるなしにかかわらず、どんな人にも祈ってほしいことはあるものです。特別な場所や機会を待つことなく、聖霊なる神様に依り頼んで、すぐその場所で祈ることを心がけて



います。聖書に、「わたしの口から出るわたしの言葉も、むなしくは、わたしのもとに戻らない」(イザヤ書 55 章 11 節)

とありますが、誰しもがもつ悩みは、神に祈るための機会だと思っています。

わたしは、一日も早く、日本にあるすべての小隊を訪ね、その恵の座で祈りを献げたいとも思っています。小隊長と、その地の人々と祈りを共にしたいのです。

―最後に、好きな御言葉を教えてください。

ケネス この御言葉を大切にしています。

「なぜなら、わたしたちは神に造られたものであり、しかも、神が前もって準備してくださった善い業のために、キリスト・イエスにおいて造られたからです。わたしたちは、その善い業を行って歩むのです。」(エペソの信徒への手紙 2 章 10 節)

シエリル 一つだけ選ぶのはとても難しいですね。神様は折々に御言葉を通して私を支

―ご住所

―ご氏名

―キトリ

□ 私の近くの救世軍を紹介してください。

□ キリスト教についてもっと知りたいです。

□ 「ときのかえ」の購読を申し込みます。



「富士山登山をしてみたいですね。」ケネス

裏
この部分を封書か葉書に貼り、面下の救世軍にお送りください。

創立者 ウィリアム・ブリス 大将 アンドレ・コックス (万国本営 英国 ロンドン) 日本司令官 ケネス・メイナード (救世軍本営 東京都千代田区) <http://www.salvationarmy.or.jp>



世界をみつめて

〈日本〉子どもたちのための新しい拠点



救世軍は、広島県呉市青山町で児童養護施設「愛光園」を運営してきました。この度、「愛光園」は、60年以上にわたって働きをおこなってきた地から移転し、新しい園舎でその働きを始めることになりました。



竣工式前のテープカット

6月25日(土)、新園舎竣工式が、司令官ケネス・メイナード大佐の司式で執りおこなわれました。また、新たに併設された児童家庭支援センター「明日葉」の開所式も共におこなわれました。

〈フランス〉宿泊施設の開所式に大統領が臨席

6月23日(木)、「救世軍難民院」として知られる「La Cité de Refuge」(フランス語で「市内の避難所」の意)は、改修工事を終え、開所式をおこないました。この建物は、1933年に開設された宿泊施設で、近代建築の父として有名な建築家・コルビュジエのデザインによる、パリ市に現存する2つの建物の中の1つです。当時、貧しい住環境にある人々への支援プロジェクトは、彼の人生のテーマであり、この施設は、彼にとってその最初の建物でした。

今回は、宿泊施設の法改正に準じた大規模な改装でしたが、

同時に、度重なる改修工事で細かく区切られていた開放スペースを当初のデザインに近いものに戻すことができました。また、明るい色の壁、小さなテラスなど、細やかな配慮を施しています。



フランソワ・オランド大統領を迎えて

救世軍の使命は、この施設を利用する人々に寝食を提供するだけでなく、社会に復帰する助けをすることにあります。キッチン、ダイニングルーム、教室、作業所、洗濯場、図書館、ジムなども使用でき、新たな職に就けるよう、訓練や雇用及び学びの機会も提供しています。



開所式に臨席したオランド大統領は、寛大な国家として、人間の尊厳を守るために、救世軍のような働きと力を合わせていくことが大切である、と語りました。

〈ニュージーランド〉スーパーヒーローになろう!

「SOUPERHEROになろう!」(英語のスープとスーパーをかけた造語)運動は、7月25日(月)~29日(金)におこなわれる、救世軍の募金運動です。集められた資金は、ニュージーランド国内にある救世軍の86の社会福祉施設を中心に、経済的に困窮している家庭への食料支援として用いられるだけでなく、街頭生活を余儀なくされている人々、また、災害の被災地などを支援するために使われます。



救世軍とは
The Salvation Army

プロテスタントのキリスト教会で、世界百二十七の国と地域で活動しています。創立者はイギリスのメソジスト教会牧師だつたウィリアム・ブリス。

一八六五年、ロンドンの貧しい人々、社会から顧みられない人々の物心両面からの救いを目指し、働きが始まりました。そして、助けを必要としている人々のニーズに迅速に対応するために、軍隊流の組織をとりましました。

世界の救世軍の指導者 アンドレ・コックス大将を迎えておこなわれる

2016 救世軍全国大会

- ◆公開集會
10月22日(土) 14:00
日本教育会館一ツ橋ホール (東京: 神保町駅下車)
- ◆パレード (救世軍プラスバンドとタンパリン)
10月22日(土) 17:00
東京: 神田神保町界隈
- ◆大会聖別會 (礼拝)
10月23日(日) 10:00
日本教育会館一ツ橋ホール



♪ 音楽ゲスト ♪
アメリカ西部スタッフ・ソングスターズ
海外でも活躍する救世軍の合唱団。
音楽を通して、キリストの福音を届けています。

入場無料
集会には、どなたも参加できます

日本での働きは、一八九五(明治28)年に始まりました。その当初から、刑を終えて出てきた人々の保護や職業訓練、災害被災者支援、廃娼運動の推進、結核療養所の設立、子どもの保護などをおこない、社会福祉史に先駆者としての足跡を残しました。

現在は、四十三の小隊(教会にあたる)と十二の分隊(伝道所にあたる)、十九の社会福祉施設、二つの病院(ホスピス併設)を通して働きを進めるとともに、街頭生活者支援や災害被災者に対する救援及び復興支援などをおこなっています。

(取扱支部) 救世軍は、統一協会、エホバの証人、モルモン教ではありません。これらの問題でお悩みの方は、右救世軍にご相談ください。

発行日及び定価
発行日 毎月一日・十五日
定価 一日号一部四〇円(六六円) 十五日号一部六〇円(六六円) クリスマス特集号(十二月一日号) 一部一〇〇円(七七〇円) 一年分二六〇円(送料七五〇円) 振替・〇〇一八〇五四四〇〇

発行兼印刷人 救世軍 代表者ケネス・メイナード 編集人 齋藤 恵子 〒101-0051 東京都千代田区 神田神保町二一十七

電話 東京(03)三三七〇八八一 発行所 救世軍本営 印刷所 図書印刷株式会社

(この欄に通信文を書くと第三種扱いになりません)